

総括

■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および6月27日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は、開設以来、時代の変遷とともにリハビリテーション機能を充実させて現在に至っている。リハビリテーション科専門医を配置し、地元の基幹病院や大学病院との連携により地域におけるリハビリテーション医療の提供に努めている。運営理念には「旅人が疲れを癒した すずかけの木陰のようにやさしさと思いやりにあふれた医療と介護を提供し地域社会に貢献します。」と掲げ、地域に根差した医療の提供を目指している。

前回は付加機能評価を受審されており、それに続いて、今回は高度専門機能リハビリテーション（回復期）を受審されている。審査において、豊富な専門職を配置して地域リハビリテーション医療に積極的に貢献していこうとする姿勢が確認できた。今回の受審を契機に、さらなる医療の質向上に向けて取り組まれるとともに、貴院が益々発展されることを祈念したい。

2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院の理念、基本方針は適切に作成されている。回復期リハビリテーション病棟の基本方針はICFの理念に基づき、より具体的な方針を検討されるよう期待したい。リハビリテーション科専門医が常勤で勤務するほか、各専門職が十分に配置されている。病棟は管理責任者を定め、病棟会議も開催されているが、組織図の整備を期待したい。医療安全管理者研修を修了した多職種が協働で安全確保に取り組んでいる。全職員が院内緊急コードを明記したカードを携帯し、全職員対象のBSLが行われている。医療関連感染制御マニュアルが整備され、感染性廃棄物の取り扱いも適切である。

医師の退院時サマリーの作成率は100%が維持されている。病棟のアウトカムに注視し、より良いリハビリテーションの提供に向けて課題を抽出している。教育委員会が開催され、院内で実施された研修等の振り返りが適切に行われている。地域の急性期病院に定期的に情報を発信し、円滑な連携に努めている。リハビリテーション・ケアの継続については病棟看護師等が退院後の患者を訪問して生活状況を確認する取り組みがある。周辺地域の医療機関や居宅系施設、介護福祉施設等の情報収集が行われている。

3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

病棟では主治医制により患者の健康管理を行い、医師は患者の全身状態を把握して患者・家族に病状や再発のリスクなどを説明している。また、医師は療法士や看護師に対して研修発表の指導・助言を行っている。リハビリテーション処方箋や多職種への指示については、個別性のある指示内容を期待したい。看護・介護職は役割や専門性を発揮しており、特に、看護師の教育のため訪問看護ステーション施設での研修体制や地域活動は評価できる。各療法士についても役割と専門性を発揮されており、チーム医療の実践に向けて多職種と情報共有することや質向上に向けた多様な取り組みが行われている。

社会福祉士は、全入院患者に入院当日から関与している。多職種への情報共有や患者の訓練状況の確認のほか、質の向上に向けて資格取得にも努められている。管理栄養士は、入院患者の栄養管理に関与しており、全患者の栄養管理計画書を作成している。多職種との情報交換やミールラウンドによる喫食状況の確認を行い、カンファレンスに参加して食事に関する方針の共有や課題の検討を行っている。

4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

初期評価は適切に実施されており、各専門職による標準的な評価に基づきADLの確認やリスク評価等が行われている。リハビリテーション計画については、患者固有のリスクに対する中止基準についても検討を期待したい。入院当日から必要なリハビリテーションが適切に実施されている。リハビリテーションの時間以外にも、自主トレーニングの提案や認知症に対するデイサービスの開催などが看護介入等により検討され、活動性を高める取り組みが行われている。患者のリハビリテーションのスケジュール内容は、病室に掲示されたボードで共有されている。

定期カンファレンスの他、臨時・専門カンファレンスが開催され、リハビリテーション・ケア計画の見直しが行われている。病棟内のリハビリテーションスペースでも訓練が実施されることが多く、日々の課題を多職種で共有しやすい環境が整備されている。自宅の住環境の評価は、家族からの家屋情報の収集と退院前訪問によって行われ、必要な家屋改修等の助言が行われている。自宅退院に際して、各専門職が治療、看護ケア、リハビリテーションの継続性についてそれぞれが指導を行っている。退院時担当者会議、サービス担当者会議も適切に開催されている。退院後も継続して支援していく仕組みが確立している。

1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	Ⅲ
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	Ⅱ
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	Ⅲ
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	Ⅱ
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	Ⅱ
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	Ⅱ
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	Ⅲ
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	Ⅱ
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	Ⅱ
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	Ⅱ

2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	Ⅲ
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
-------	-------------------------	----

2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
-----	--------------------------------	--

2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	II
-------	---------------------	----

2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
-------	------------------------------	----

2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	II
-------	--------------------------	----

2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
-------	-------------------------	----

3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	II
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	III
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	II
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	II
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	II
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	III
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	II
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	II